

## 新しいSIAA マークが開始されます！ ～抗バイオフィルム加工(付着抑制)～

SIAA（抗菌製品技術協議会）で新しいマークとなる「抗バイオフィルム加工製品（付着抑制）」が追加され、2024年7月1日より運用が開始されます。本マークは2023年7月に制定されたISO 4768に基づき評価をして登録するマークになります。ポーケンは当該ISOの規格制定に関わった実績もあり、当認証制度における指定試験所となっております。

### 「抗バイオフィルム加工(付着抑制)」とは？

バイオフィルムは微生物が産生する物質と菌体とからなる集合体であり、一般的にはお風呂場や排水口といった水回りによく見られる「ぬめり」として知られています。抗バイオフィルムは製品上のバイオフィルム形成を制御する事であり、これまでは抗バイオフィルムの効果に対する基準はございませんでしたが、マーク（右記）を伴った標榜が可能となります。

抗バイオフィルム加工(付着抑制)は材料表面でのバイオフィルム形成（静置条件下）の抑制効果（付着抑制）についての区分です。

注意：バイオフィルムの付着を完全に抑制するものではありません。（マーク近傍に付記）



登録製品名称	抗バイオフィルム加工（付着抑制）
試験方法	ISO4768
試験菌種	<i>Staphylococcus epidermidis</i> （表皮ブドウ球菌） ATCC 35984
耐久性試験	SIAAの定める耐水・耐光性区分
必要試料	3×3 cm平滑な板状シート状の検体 6枚（無加工品及び加工品）
性能基準	抗バイオフィルム活性値60%以上



✓ 抗バイオフィルム活性値 Anti-biofilm activity (%)  
試験片を菌液に浸漬し規定時間培養後（48時間）、染色した無加工試料表面と加工試料表面の吸光度の比較から求められる、バイオフィルム付着量の抑制率

無加工品

加工品

紫色の部分が試料表面に付着しているバイオフィルムを染めたものです。紫の部分が少ない程、バイオフィルムの付着が抑制されていることとなります。

培養後、クリスタルバイオレット染色液にて染色した試験片表面の写真  
試験では試料固定のためガラス板（4×4cm）に張り付けており、赤枠内が試験試料



詳しい試験内容はこちらのトピックをご覧ください！  
「No368\_プラスチック及び非多孔質表面の抗バイオフィルム試験がISO規格として制定されました」  
リンク先：ポーケンHP (<https://www.boken.or.jp/news/news-19913/>)

ISO4768の試験受付は開始しておりますので、ご依頼の相談等いつでもお待ちしております！  
※SIAAマーク登録を目的とした試験受付開始日は**2024年7月1日以降**となります。



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。